

平成 30 年度地域医療介護総合確保基金（医療分）

## 事業報告

1. 神戸市医師会  
事業名：訪問診療同行研修  
専門性の高い分野についてかかりつけ医師をサポートする事業  
所要額：0 円（予算：150 万円）  
※別途各市区医師会に配分された在宅医療充実強化推進事業の  
上限 170 万円の中で実施
  
2. 北区医師会  
事業名：一般救急・精神科等地域連携モデル事業（リエゾン事業）  
所要額：753,000 円（予算：150 万円）
  
3. 神戸市歯科医師会  
事業名：周術期口腔機能管理に係る医科歯科連携事業  
所要額：1,068,749 円（予算：100 万円）  
※予算超過分は神戸市歯科医師会繰入金を充当
  
4. 垂水区医師会  
事業名：行政単位・医療圏を越えた連携事業（明舞団地等医療連携事業）  
所要額：401,338 円（予算：50 万円）

平成30年度地域医療介護総合確保基金(医療分)の提案事業 査定結果

(単位:千円)

No	提案団体名	事業名	要望金額	採択可否	査定結果	対応等	
1	神戸市医師会	在宅医師支援のための「在宅医療塾」開催	4,468	△	0	<p>県医師会の「在宅医療充実強化推進事業」のなかで、神戸圏域における課題解決事業として、神戸市医師会及び各区医師会事業として、1市区あたり、1,700千円の予算確保をしている中で実施されたい。</p> <p>※上記1,700千円とは別途配分</p>	
2	神戸市医師会	訪問診療同行研修	2,183	○	※ 1,500		
3	神戸市医師会	専門性の高い分野についてかかりつけ医師をサポートする事業	4,994	○			
4	灘区医師会	在宅医療に関する研修会及び病診協議会	360	△	0		
5	中央区医師会	かかりつけ医育成のための研修	400	△	0		
6	北区医師会	一般救急・精神科等地域医療機関連携モデル事業	10,085	○	※ 1,500		
7	長田区医師会	在宅医療・介護サービスの充実のために必要な事業(認知症)	3,500	△	0		
8	垂水区医師会	行政単位・医療圏を越えた連携事業	2,452	○	※ 500		
9	神戸市歯科医師会	神戸圏域における在宅口腔機能管理推進事業	4,000	○	1,000		<p>昨年度並みの予算額(1,000千円)を確保したことから、同経費の中で実施されたい。</p>
10	神戸市歯科医師会	周術期口腔機能管理に係る医科歯科連携事業	4,000				
11	東灘区歯科医師会	摂食嚥下障害を有する者に対する食支援チームの整備事業	1,150	△	0	<p>県歯科医師会を通じた地域事業の中で対応されたい。 (在宅歯科医療推進事業H30予算額:29,300千円)</p>	
12	灘区歯科医師会	周術期口腔機能管理に係る医科歯科連携	300	△	0		
13	中央区歯科医師会	市民向け新聞折り込みチラシ配布事業	380	△	0		
14	中央区歯科医師会	神鋼記念病院に対する医療従事者向けの口腔ケア講習会	38	△	0		
15	北区歯科医師会	地域ケア会議(及びブロック会議)連絡協議会	210	△	0		
16	垂水区歯科医師会	在宅歯科医療連携室機能強化事業	274	△	0		
17	垂水区歯科医師会	診療科の偏在対策、医科歯科連携のための事業	163	△	0		
18	須磨区歯科医師会	安心安全な在宅歯科医療実施推進	1,292	×	0		<p>機器整備については、過去に訪問歯科診療にかかる機器整備の補助事業を実施したところであり、改めての対応は困難である。</p>
19	神戸市民間病院協会	電子お薬手帳を活用した薬業連携の推進	12,925	×	0		<p>今後、2次医療圏域規模の医療情報地域ネットワークの整備検討を進めていくため、薬剤情報に限定した取組みである現計画での対応は難しい。</p>
20	神戸市	ICTを活用した多職種間での在宅療養患者の情報共有の推進	11,480	×	0		<p>在宅医療にかかるICTを活用した多職種連携の在宅医療地域ネットワーク整備事業を県医師会を通じ実施中であり、郡市医師会等を通じ当該事業等の活用や連携実施を検討されたい。</p>
要望額合計			64,654				

## 神戸市医師会 平成 30 年度 基金事業報告

事業名	実施内容	成果
訪問診療同行研修	患者・家族が満足できる在宅医療の実現を目指し、在宅医療を担う医師の養成・支援を図る。	経験豊富な在宅医療を行っている医師と専門ではないものの在宅医療を行っている医師やこれから在宅医療を始めようとする医師に対してアンケート調査を実施して、同行可能な医師同士のマッチングを行うことを検討した。
専門性の高い分野についてかかりつけ医師をサポートする事業	かかりつけ医が、他科の専門医師のサポートを受けながらできる限りかかりつけの患者に対応できる体制を整える	専門性の高い分野（認知症・緩和ケア・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科など）の専門医師がオンコールで、かかりつけ医からのアドバイスを受ける仕組みについて協議を行った。

## 平成30年度「先行的支援事業（在宅医療充実強化推進事業）」

事業名：一般救急・精神科等地域連携モデル事業（リエゾン事業）

### （目的）

北区内の一般救急8病院、精神科5病院がそれぞれの強みに応じた重層的なネットワークを構築することで、精神疾患（認知症疾患を含む）に対する在宅医療の充実を図る。北区地域の精神科を含む総合病院様対応を目指す。

### （内容）

一般救急病院と精神科病院による応援体制の構築により、精神疾患（認知症を含む）対応力強化を図り、身近な医療機関での入院受け入れを可能にしていくことで、かかりつけ医の負担を軽減し在宅医療の充実につながる。一般救急においては、精神疾患（認知症を含む）への対応困難事例について、精神科リエゾンチーム（医師・看護師等）の人的資源の応援により対応力強化を目指す。また、精神科病院では、一般身体疾患併発例で院内対応困難な場合、同様に一般救急よりのリエゾンチームで対応する。

### （実施事業）

#### 1. リエゾン事業

一般救急病院に対し、精神科リエゾンチーム（医師・看護師等）の人的資源の応援により対応力強化を目指す。

- ①有馬高原病院・済生会兵庫県病院では、平成30年8月から定例会議にて4回実施。検討件数は5件。
- ②兵庫県立ひょうごこころの医療センター・真星病院では、平成30年12月よりワゲマド®対応にて4回実施。検討件数は11件。

#### 2. ①多職種（実務者）連携会議、②リエゾン事業連携会議、③成果発表会

- ①平成31年1月18日に開催し23名参加。  
リエゾン事業実施病院の看護師、薬剤師、MSWからの報告。
- ②平成31年2月9日に開催。15名参加。  
リエゾン事業実施病院から院長、看護部長、薬剤師等が参加し、実施状況の情報交換を行った。
- ③平成31年3月16日に開催。実施機関等から25名参加。  
実施機関の院長・看護師等それぞれから成果報告があり、意見交換を行った。

### （事業効果）

#### 1. リエゾン事業

##### ①有馬高原病院・済生会兵庫県病院

精神疾患患者の手術に伴う疾患悪化時の対応や精神疾患の患者及び症状のある産科患者（産前、産後、授乳）の受診のタイミングが勉強できた。小児科では、薬剤と授乳について、薬剤の選択や調整、母親の精神疾患（症状）への対応など一般医では判断に苦慮する事例に対しての専門的アドバイスは医師、看護師等にとって大変勉強になった。

##### ②兵庫県立ひょうごこころの医療センター・真星病院

薬の使い方が大変役に立った。医師は専門医から薬の処方が勉強になり、薬剤師は、医師に対し処方薬の変更、調整等に関する相談が円滑に行えるようになった。看護師からはリエゾン事業により現場の安心感が高まったとの感想を得た。

#### 2. 多職種（実務者）連携会議、リエゾン事業連携会議、成果発表会

上記のような実施機関からの報告を受け、未実施の病院から、入院までは穏やかな人でも、入院により大声や不穏などのせん妄症状が出現することがあり、現場の看護師は対応に困ることがあり、アドバイスを受けた。精神科の既往があるとわかれば、看護師は極端に構えてしまうところがある。様々なケースや症状に、どのように対応すべきか病棟看護師は困ることが多い。このような状況にありリエゾン事業に期待するとの意見が寄せられた。

### （課題点）

#### 1. リエゾンチーム員の確保

協力体制をとるにも、北区の全てのニーズに応えるには、派遣元の人材も限られて人材を有効に活用するには制約が大きい。

#### 2. 事業の浸透

各々の病院でニーズがあるが、一般救急8病院全てには実施できていない状況にある。北区内の全ての病院に浸透するまでには、まだ時間がかかると考える。

先行的支援事業実績（一般救急・精神科等地域連携モデル事業（リエゾン事業））

- 1 「精神科リエゾンチームによる一般救急病院への応援」  
委託費 317,000 円 （有馬高原病院 4回、ひょうごこころの医療センター 4回）
- 2 「リエゾン事業における多職種実務者会議」.  
旅 費 看護部長等 11 名 @3,000×11 名 33,000 円
- 3 「リエゾン事業連携会議」  
報賞費 医師会長等 5 名 @20,000×5 名 100,000 円  
旅 費 看護部長等 7 名 @3,000×7 名 21,000 円
- 4 「一般救急・精神科等地域連携モデル事業 リエゾン事業成果発表会」  
会場費 みのたにグリーンスポーツホテル 76,000 円  
報告書 216,000 円

総計 753,000 円

## 神戸市歯科医師会 平成 30 年度 基金事業報告

事業名	事業実績	所要額(円)
<p>周術期口腔機能管理に係る医科歯科連携事業</p>	<p>(目的)</p> <p>周術期等口腔機能管理を積極的に医療従事者並びに患者へ広く周知し、手術前後に口腔機能管理を受ける事により、患者の術後のQOLの維持向上を推進し口腔からの摂食により健康寿命の延伸に寄与する。</p> <p>(概要)</p> <p>『医科病院等に対する周術期等口腔機能管理の啓発資料』を有効活用するため、周術期等口腔機能管理の広報、その重要性の説明を担う看護師等の医療従事者に対する周術期等口腔機能管理に関する研修会の開催。周術期等口腔機能管理受け入れ可能な歯科医院の紹介システムの構築。(公社)兵庫県歯科衛生士会の協力のもと、訪問口腔ケアの一環として医療介護従事者が居宅を訪問し在宅患者の口腔機能管理(訪問口腔ケア)を行うとともに口腔機能の向上、改善を図った。</p> <p>(効果)</p> <p>周術期等口腔機能管理を広く推進する事により、がん治療における種々の合併症を抑制、在院日数の軽減、等が期待できるとともに、術後の早期の回復が見込まれる。また継続的な口腔機能管理を実施する事により誤嚥性肺炎の発生を予防する。居宅要介護者の方々が可能な限り口腔からの食物摂取をしていただくことにより、健康寿命の延伸に寄与できた。</p> <p>(事業内訳)</p> <p>病院等からの要請に対応する、周術期等口腔機能管理ガイドライン・プロトコルの改訂及び周術期等口腔機能管理対応歯科医療機関紹介のためのシステム構築。神戸市歯科医師会歯科保健推進室において、受け入れ可能な歯科医院等のデータの管理と更新。歯科衛生士等の介護専門職による機械的口腔清掃(狭義の口腔ケア)はもちろん、摂食嚥下機能回復を含めた機能的な口腔ケアは、患者のADLの維持ならびに健康寿命の延伸に寄与する事は広く認識されている。口腔ケア従事者のレベルアップをはかる目的で、専門職を対象とした機能的口腔ケアに関する研修会を開催し、その質を担保した。</p>	<p>1,068,749</p>

	<p>1) 委員会</p> <p>第1回委員会 平成30年4月10日(火)20:00 出席者8名 第2回委員会 平成31年3月1日(金)20:00 出席者5名 第3回委員会 平成31年3月22日(金)20:00 出席者6名</p> <p>2) 口腔ケアに関する研修会</p> <p>平成30年度介護保険事業所従事者口腔ケア実技研修会 日時：平成30年10月20日(土)13:30 場所：神戸市歯科医師会附属歯科診療所 演題「高齢者の口腔ケア」 講師：神戸市歯科医師会 高齢者福祉委員会 副委員長 登利佳央 参加者 15名</p>	
--	--	--

## 垂水区医師会 平成 30 年度 基金事業報告

事業名	実施内容	成果	所要額 (円)
明舞団地等 医療連携事業	<p>1. 明石市および神戸市垂水区の多職種代表者による会議の開催</p> <p>2. 明石市と神戸市垂水区の入退院の連携の現状と課題の発表（研修会）の開催</p>	<p>行政区を越えて集まることで、顔の見える連携が取れる関係を作る下地を作ることができた。</p> <p>互いの地域の現状や取り組みを報告することで、行政区を越えて受診する患者等への対応に役立てることができる情報を得られた。</p> <p>取組の違いや問題点が浮きあがり、来年度以降に解決すべき課題が抽出された。</p>	401,338